

STUDENTS' VOICE 学生の声

愛する故郷のため

私が感じた魅力とは、地域に密着した活動が多いことでした。そこで直接、地域の方と関わり、多くのことを学び身につけたいと思っています。愛する故郷のために島根県立大学でたくさんの事に挑戦します。

赤崎 光輔さん(1年)
島根県立倉吉東高等学校出身

島根県立大学に進学した理由

私は将来、地元である島根に貢献できる保健師になりたいと考えています。そのため、地域に密着した実習を通して、地域の問題についてより深い学びができると感じ島根県立大学を志望しました。今後は地域の方から信頼される保健師になれるよう勉強やボランティア活動など様々なことを頑張りたいです。

井上 美陽子さん(1年)
島根県立松江南高等学校出身

島根県立大学を志望した理由と目標

私は地域との繋がりを大切にし、地域の方から信頼される看護師を目指しています。地域の方と共に学べる授業や、1年次からある訪問実習に魅力を感じ島根県立大学を志望しました。同じ目標を持った仲間や指導をしてくださる先生方との縁を大切にし、日々成長しながら地域に貢献できる看護師になりたいと思います。

猪熊 咲樹さん(1年)
私立野田学園高等学校出身(山口県)

島根県に根付いた地域医療を学ぶ

私は地域や他職種と連携しながら、少しでも患者さんのニーズに添うことのできる看護師になりたいと考えています。直接地域の方と関わる実習を通して、島根県の医療の現状を自分の目で確かめるとともに、実践力や連携力を身に付け、島根県で働く看護師としてのあり方を見つけていきたいです。

那須 愛瑠さん(1年)
島根県立瀬戸高等学校出身

スキルアップを目指して

島根県立大学では、地域密着型体験学習を通じ、自主的に考え行動する力や相手を理解する力など様々な力を身につけ、スキルアップさせることができます。1年生では、実際に地域の方のお宅へ訪問し、密に関わらせていただく中で多くのことを学び深めることができました。

石川 愛葉さん(2年)
愛知県立安城高等学校出身

災害に強い看護師になるために

私は本学で災害研究会というサークルを立ち上げたり、災害時の看護について積極的に学んでいます。この経験を臨床や災害時に活かせるようにしていきたいと思っています。

長島 佳亮さん(4年)
島根県立出雲高等学校出身

看護師として地域に貢献したい!

私は将来、地域の方々に寄り添った看護をしたいと高校生の時から考えており、地域に密着した授業に魅力を感じ、島根県立大学を志望しました。島根県立大学でしかできない地域との関わりを大切にしながら、4年間勉学に励み、地元で貢献することのできる看護師を目指したいです。

丸亀 穂乃香さん(1年)
島根県立大田高等学校出身

地域で活躍できる看護師を目指して

私は、訪問看護師として島根県の在宅医療に貢献したいと考えています。島根県立大学での学びを通して、島根県ならではの特色を深く理解したいです。そして島根県の土地、人、風土に合った看護師を目指します。

佐藤 実柚さん(1年)
島根県立平田高等学校出身

当たり前を確実に

私は将来、患者さんに寄り添い、それぞれに合わせたケアのできる看護師を目指しています。これは当たり前のことだと思いますが、島根県立大学で力を入れている地域医療の学習を通して、基礎をしっかり学んでいきたいと思っています。

大石 まどかさん(1年)
静岡県立磐田西高等学校出身

人から必要とされる看護師になるために

私は将来、在宅医療に携わる看護師になりたいと思っています。在宅医療を行うには地域との良い連携が重要で、島根県立大学では地域とのつながりが強く地域密着型の滞在学習もある所に魅力を感じました。これから多くの人と一緒に、より人が幸せになる看護について学んでいきたいと思っています。

新谷 真由さん(1年)
広島県立広島井口高等学校出身

故郷に貢献できる看護師を目指して

私は将来、隠岐の人に安心と元気を与えられる人材となり、恩返しをしたいと考えています。地元との繋がりを感じながら、実習や勉学を通して知識や技術とともに、適切な判断力や協働する力を養いたいと思い、島根県立大学を志望しました。より豊かな人間性を育むため、4年間を充実させたいです。

高井 彩さん(1年)
島根県立隠岐高等学校出身

地域に貢献できる保健師になるために

私は、地元で地域に密着し、個性のある指導ができる保健師になりたいと考えています。本校ではフィールドワークや訪問実習などがあり、実際の地域で住民の方の声を聞きながら学ぶことに魅力を感じました。島根での出会いや学びを大切に充実した4年間にしたいです。

後藤田 芽衣さん(3年)
徳島県立脇町高等学校出身



ALUMNIS' VOICE 卒業生の声



杉谷 祐梨さん
江津市役所 子育て支援課勤務(保健師)

私が江津市を志望したきっかけは、大学で行われた県内の自治体説明会で。そこで紹介された取り組みに興味を持ち、インターンシップに行き実際に保健活動を見学させていただき、ここで働きたいと思いました。

私は主に母子保健に携わっています。様々な家族がいる中で、関係機関と関わりながら地域で家族を支え、子どもを見守り育てていると感じることができ、とてもやりがいを感じています。また、指導も手厚く、保健師として成長することもできます。困ったときはすぐに相談できるため、働きやすい職場です。

大学では地域看護について学ぶ機会が多く、1年生の頃から地域に出て、地域で暮らす人々の健康について考えることができました。「生活者の視点」を大学で学ぶことができ、現在に活かされています。



村村 早希さん
島根県立中央病院勤務(看護師)

学生時代この病院で実習を行うことが多く、院内の様子に分かっていたこと、消化器外科病棟の実習で、手術を受けた患者さんが日に日に元気になる姿をみて、その回復に携われることにとってもやりがいを感じ、この病棟を志望しました。大学で学んだ人体構造や機能、看護技術などを思い出しながら、患者さんの身体の変化を考え、怪我や病気で普段通りの生活が難しい患者さんの苦痛が緩和されるように看護ケアを行っています。様々な背景を持った患者さんが入院しておられるので、病棟の看護師だけでなく、医師や他の職種とも協力して一人ひとりの患者さんに合わせたケアを考えて行うことにとってもやりがいを感じています。



若葉 志保さん
隠岐広域連合立隠岐病院勤務(助産師)

私は、離島のお産を守るために「院内助産」を開いた助産師さんの姿にあこがれ、自分もその中で地域に貢献する事が出来ればと思い、地元である隠岐病院に就職しました。隠岐病院は隠岐の島町内唯一の総合病院としての役割を担い、16の診療科があります。私が働いている病棟は様々な科が一つになっている混合病棟であり、新生児から終末期の患者さんまで幅広い年齢層、疾患の患者さんが療養されています。そのため看護師として多くの疾患に対する知識や医療的なケアについて学ぶことができ、また助産師として命の誕生の場面にも立ち会うことが出来ます。まさに人の一生に関わることが出来るという所にやりがいを感じています。様々な業務があり大変ではありますが、看護職として成長出来ると思うので皆さんにも是非隠岐病院に来て欲しいと思います。